



ドッグトレーナー・コース学科免除試験

この度は、JDBA ドッグトレーナー・コースの受講ありがとうございます。

本試験は、学科科目のケイナインスタディーを免除するために実施されるものです。別紙の問いの全てに回答してください。採点の結果、試験に合格することで免除可能かが判断されます。

合格者は学科課題のケイナイン・スタディーの修了が免除され、ケイナイン・ビヘイビア&サイコロジーからの受講が可能となります。

評価は、A,B,C,D の四段階評価です。A,B が合格点で、C,D は失格となります。失格した場合は、再度試験を受けることができます（再提出 2 回までとなります）。

回答の方法

回答は、論述形式です。300 字以上 1000 字未満で回答してください。記述は、ハーバード形式で記載してください。回答の最後には参考文献リストを記載してください。本文中、主張の重たる所に引用符を記載します。引用符は（著者名, 出版年）をカッコで閉じて記載します。文面をそのまま引用する際は、その文の最初と最後を”” で括り、最後に（著者名, 出版年）を付け足します。

例) 問：家にいる犬が来訪者の存在に気づいた時に、最初にとる代表的な行動を説明してください。

答：犬が他者の存在に気づき、警戒すると耳をその方向に向け、短く「ウォフツ」と低い声で吠える（コレン,2002）。来訪者が近づくと連れて、警戒心は高まり、最高潮に達すると「ウォン、ウォン、ウォン、ウォン」と連続的に吠え立て、来訪者を追い払う（トルムラー,2001）。これらの行動が長期に渡り・・・

～回答の末巻に参考文献リストを記載する～（3 問の回答を作り、最後に参考文献をまとめて記載する）

記載の方法は” 著者名（出版年）, タイトル, 出版社所在地, 出版社” の順で記載する。

各項目はカンマで区切り、タイトルにはアンダーバーを使用する。

例) 参考文献；

スタンレー・コレン (2002), 犬語の話し方, 東京, 文藝春秋社

エーバーハルト・トルムラー (2001), 犬の行動学, 東京, 中央公論新社

・インターネット上から参考にした場合

ネット上の記事を参考にする場合は、執筆者（更新の年）, 記事タイトル, サイト名, アドレス, (閲覧日) の順で記載してください。尚、インターネット上の情報を使用する際は、その著者が特定されていることが必要です。獣医師（看護師は不可）、製薬会社などの専門的な法人、ドッグビヘイビアリスト（有資格者）、大学が公表する記事、論文、などが使用できます。著者名（実名）が不明なものは、参考として使用することはできません。

例) 田中雅織 (2014), Behaviour and socialization of the dog. - 犬の行動と社会化 -, Healthy Dog Ownership, <http://www.healthydogownership.com/behavior>, (閲覧日 2017 年 5 月 1 日)

回答の期限：免除試験のお申込日から 2 週間以内に送信してください。